

⑫	学 年	単 元(題材)	学 習 内 容
	4	2けたでわる計算	何十を何十でわる計算を理解する。

80円持っています。1こ20円のおかしを何こ買うことができますか。

(式)

答え

誤答例

- ・式が立てられない。
- ・ $80 + 20 =$
- ・ $80 \times 20 =$
- ・4円や40円と答えてしまう。

つまづき方

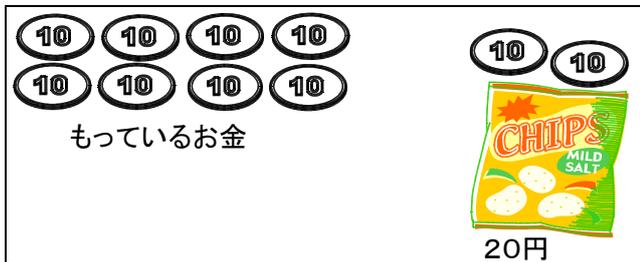
- ・課題場面を数式に結び付けることができない。
- ・課題文に出てきた数字だけにとらわれ、それを習った式に当てはめてしまう。
- ・「何を求めているのか」と考える意識が低い。

原因

- ・課題文をよく読んで悩んで演算決定を行い、さらに立式に結び付けるという経験が少ないため、安易に思いつく演算記号で結び付けてしまう。

支援の手だて (指導方法, 教材・教具, ワークシート, ヒントカード, 指導形態の工夫など)

(1) **課題場面把握**のため, **買い物ごっこ**をする**(動作化)**。



- 模造十円玉8こを持って買い物ごっこをして、20円の菓子を買うことを通して、題意をつかませる。
- もっているお金で、菓子が何個買えるか計算するための演算がわり算であることを実感させる。

実際に課題場面を体験することは、イメージをもつことが苦手な子には特に効果的です。



(2) 演算**決定の練習**(**プリント学習**)

80÷20の式になる問題は、次のどれですか。

- ① 80cmのリボンを一人20cmずつくばります。何人にくべられますか。
- ② あめを80こずつ入れたふくろが20こあります。あめは全部で何こありますか。
- ③ どんぐりを80こひろいました。妹に20こあげました。のこりはいくつですか。

- いくつかの場面を比較させながら、四則の違いに気づかせ、「同じ数ずつわかる」というわり算の場面の特徴をつかませる。

式の意味を理解する練習です。式に当てはまる文を選ぶという形式なので、取り組みやすいですね。

